

入札説明書等に対する質問回答書

黒沢林道(黒沢第2号橋)改良工事

質問事項	回答事項
<p>① 橋名板にはTL-14と記載されていますが、14t荷重と理解して良いですか。また昭和39年10月竣工とあります。既に60年以上経っていますが、橋の部材等の経年劣化についての点検は確実にされているのでしょうか。ハンガーケーブルも細く劣化(錆びていたり腐食もある)が見られます。右岸側のアンカーとメインケーブルが埋まっている状態も確認できました。安全面の懸念を感じています。</p>	<p>ご質問のとおり、黒沢橋については60年以上経過しており、メインロープなど腐食が確認されています。橋梁はTL-14で設計されており、昭和56年まで林道として使用されておりました。現状を鑑みれば設計当時の荷重をかけることは好ましくなく、大きな重機等を使用しないモノレールを採用しております。また、仮設に使用する格子マット(1枚506kg)の布設時に一番荷重がかかる状況にあるため、バックホウ0.2㎡~0.28㎡相当で検討しております。詳細な施工方法については検討内容を踏まえ施工計画に反映してください。</p>
<p>② 格子状鋼製マット1枚の荷重は何kgを想定していますか。我々が調査した格子状鋼製マットの荷重だと500kg/枚であり、設計図書の60枚を設置すると30tになります。更にモノレールや資材、設置撤去に使用する様になっている小型バックホウの荷重を足すと常時約40t位の重量が常に橋に掛かります。現橋は工事期間にその重さに耐えられる絶対強度がありますか。</p>	<p>ご質問のとおり、格子マットの総重量は30tを超えますが、調査では橋面に使用されていた木製床版は横木(H120×W120×L3800)と縦木(H60×W200×L4000)で構成されており、総重量約42.2tとなっております。施工時にかかる荷重を40t以下と想定しておりますので設計荷重上は問題ありませんが、質問①でも回答のとおり状況ですので、可能な限り荷重をかけない施工方法を検討してください。</p>
<p>③ 古い木製の横木、縦木を撤去する様になっていますが、処分費は計上されていないように思えます。既設の木製はどう処理するお考えでしょうか。また、一時的に鋼材のみとなり、かなりの危険作業と思われる。仮設足場設置等は検討しているのでしょうか。</p>	<p>ご質問のとおり、木材の処分費は見込んでおりませんので、監督職員が指定する箇所へ運搬をお願いいたします。木材撤去時にご質問の通り危険な状況が想定されております。一度に全ての木材を撤去後に格子マット布設ができませんので、一枚分の木材を撤去しながら格子マットを布設する方法で検討しております。安全に仮設を行う方法で前記以外の方法がありましたら施工計画に記載後、監督職員と協議してください。</p>
<p>④ 橋の上のモノレールの固定方法が不明です。コンクリート型枠用合板(コンパネ)の上でどうやって固定する様になっているのでしょうか。</p>	<p>工事用モノレールの架線布設にあたって、架線と橋梁を連結するため単管を使った根がらみ等により橋梁との連結を想定しておりますが、モノレール布設業者によって考えが異なる場合がありますので、施工計画に記載後、監督職員と協議してください。</p>
<p>⑤ 図面ではモノレールが700キロタイプになっていますが、設計書では500キロとなっています。どちらを採用しているのでしょうか。また700キロタイプになると、レールが2本になるので荷重も増えていくと思われます。</p>	<p>調査段階では700kgで検討しておりましたが、黒沢橋への影響を最小限にするため500kgの仕様に変更しています。</p>
<p>⑥ 白倉国有林まで行く林道白倉山線(浜松市管理)は、常に落石、崩土が多く、行ってみて通れないという状況が多々あります。また路面が掘れてしまっていたり、幅員が狭くなっている箇所も見受けられます。それらの整備対応はどうなっているのでしょうか。</p>	<p>林道白倉山線については、当署の管轄外であることから、整備対応が必要な場合には、管理者である浜松市と別途調整となります。</p>

## 入札説明書等に対する質問回答書

## 黒沢林道(黒沢第2号橋)改良工事

質問事項	回答事項
⑦ 入梅、夏季の集中豪雨、台風の影響で土砂崩れが想定されます。それらの影響で施工の中断等が発生した場合、また水窪町は豪雪地域として指定されています。積雪により通れない場合も想定されます。それらの場合に工期の延長は認められますか。	週休2日の取組が可能となる、余裕をもった工期を設定しています。なお、工期内に完成できない場合は、別途協議することとなります。
⑧ 黒沢1号橋を渡った向こうの林道は、道路として成り立っているのでしょうか？現状では危険なため対岸へ渡る事は不可能なので状況を知りたい。	黒沢橋の左岸側は林道が使用できる状況ではありませんので、モノレールでの移動を想定しています。
⑨ モノレール架設が1,100m計上されています。図面によると林道の途中、ヘアピンカーブを2カ所ショートカットする感じで架設するようになっています。その場所の状況はどうなっているのでしょうか。架設に支障のある木等は無いですか？また勾配はどうなっているのでしょうか。	ご質問のとおり、黒沢林道は2箇所ヘアピンカーブがありますが、斜面の崩落等により使用できる状況ではないため、概ね破線の位置で検討しております。モノレール布設にあたっては、大きな立木は想定しておりませんが、必要に応じて監督職員と協議ください。斜面勾配は人がロープ等なしで歩ける程度の勾配となっております。